



眉丈の丘 第9号

「笑顔にあふれ、みんなが輝く学校」

学校メールアドレス rokusei_es@school.town.nakanoto.ishikawa.jp

今年の暦も12月の1枚を残すのみとなりました。学校では、2学期に残された日々の中で、児童自らが成長したと実感できるように、しっかりとまとめを行っていきます。インフルエンザの流行期を迎えたとのニュースもあります。健康管理には十分にご留意ください。

学習発表会&ミニコンサート

11月7日（木）、学習発表会を開催しました。それぞれの学年が、これまでに国語や社会、生活科、体育などで学習したことを活かして発表しました。大勢の人の前に立つ緊張感を乗り越え、どの子どもも堂々と、そして楽しく表現することができていました。

学習発表会の後、学校創立20周年記念イベントとして、マリンバ演奏者の竹宮純子さんとピアノ演奏者の下原由佳さんによるミニコンサート（PTA 教養部主催）がありました。子ども達は、一流の方が奏でるマリンバやピアノの音色を味わいながら聞き入っていました。

3年 ファンタスティック マット&とび箱



2年 ミリーのすてきなぼうし



1年 むしとなかよし！むしはかせ



4年 ごんぎつね～兵十からごんへの思い～



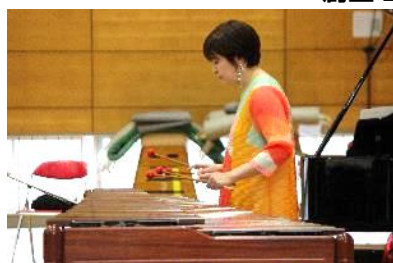
5年生 夢の国から、脱出せよ



6年 レッツタイムトラベル～歴史に入った6年生～



創立20周年記念 ミニコンサート(マリンバ&ピアノ)



ドローンで人文字撮影

11月21日（木）、ドローンオペレーターの大島浩文さんをお願いして、全校児童で形作った「鹿西小」と「20」の人文字をドローンで撮影していただきました。天候が心配されましたが、子ども達が速やかに整列してくれたおかげで、雨にあたることなく短時間で撮影が終わりました。撮影した写真は下敷きに取り込み、創立20周年の記念品として全校児童に配布します。



応募作品・各種コンクールの入賞者

夏休み中に取り組んだ応募作品、学校で取り組み出品した各種コンクールの結果が届いています。これまでに連絡を受けた応募作品・コンクールの入賞者は下記の通りです。おめでとうございます。

① 県児童硬筆書写作品コンクール				
会長賞	2年 蔵田 結翔			
特選	1年 長谷川仁奈	3年 勝木 円	4年 島橋 柚香	
	5年 梅村 茉央	6年 高木 那名	*	
入選	1年 宮田 かな	2年 澤田 玲龍	4年 山森 花音	
	4年 石端 恭佳	5年 福島 舞子	6年 丸井 桜咲	



② 鹿島郡読書感想文コンクール				
最優秀賞	4年 石端 恭佳	* 郡代表として県審査会へ出品		
優秀賞	6年 中村 優花			
優良賞	1年 宮田 かな	2年 中村 美心	3年 岸 奏佑	5年 岩本 涼羽

③ 石川県読書感想文コンクール	
最優秀賞	4年 石端 恭佳 * 県代表として全国審査会へ出品



④ 中能登町男女共同参画川柳コンクール	
最優秀賞	6年 清水 佳音 「かんけいない 好きな自分に なればいい」
優秀賞	6年 最部 祈凰 「今の時代 ○○らしくは かんけいない」

11月の授業サポート事業他

今月も、地域の方に子ども達の学びをサポートしていただきました。ありがとうございます。

《町長さんとの座談会》

宮下町長さん、笹川議長さんにご来校いただき、6年生は「町長さんとの座談会」にのぞみました。子ども達は、未来の中能登町を見据えながら、子どもらしい発想で町づくりについて意見を述べていました。



《社会科学習サポート》

4年生は社会科の「残したいもの、伝えたいもの」の学習として、大森宏一さんから鹿西地区の「祭り」についてお話を聞きました。子ども達は、地域の祭りを伝承していくことの大切さを感じ取っていました。



《習字サポート》

4年生は書写(毛筆)の学習として、木島千代子さんから筆の入れ方や筆の運び方について教わりました。今後、教えていただいたことを活かして、書初め大会の課題「明るい心」の練習に取り組んでいきます。



6年 学年PTCA 行事

11月16日(土)、6年生の学年PTCA行事があり、卒業式につけるコサージュ作りと、20歳の自分への手紙と親から子への手紙を書くことに取り組みました。親子で楽しく会話しながらコサージュ作りに取り組む姿、20歳になった時のことを思い描きながら真剣に手紙を書く姿が見られました。なお、書いた手紙はタイムカプセル郵便として、20歳になった時に届くことになっています。



11月26日の夜に発生した地震(中能登町は震度4)の翌日、「久しぶりに怖かった」「眠れなかった」という子どもの声が多数聞かれました。

さて、元旦の地震から間もなく1年が経過しようとしています。この節目を迎える時期に、いったん収まっていた反応が再燃し、心身の状態が不安定になる「アンバーサリー反応」が現れると言われます。決して特別な反応ではありません。学校では、そうした反応が現れることを事前に指導するとともに、アンテナを高くして子どもたちの様子を観察していきたいと考えています。

